吹き出しのない書式見本は、4 頁から始まります。
書式の注意事項を確認後、1～3 頁は削除下さい。

19mm

論文題目
ゴシック体／サンセリフ体 12pt.

交通工学研究会　論文書式見本③

Sample Manuscript (3) of Papers for Japan Society of Traffic Engineers

1 行空ける

氏名の間は半角ブランク

交通 太郎[1]，工学 花子[2]，John DOE[3]，竹橋 次郎[4]

Taro KOTSU[1], Hanako KOGAKU[2], John DOE[3] and Jiro TAKEBASHI[4]

著者氏名
明朝体／セリフ体 10pt.

1 行空ける

ここに論文内容の概要を 300～350 字に要約して記す。ここに論文内容の概要を 300～350 字に要約して記す。ここに論文内容の概要を 300～350 字に要約して記す。ここに論文内容の概要を 300～350 字に要約して記す。ここに論文内容の概要を 300～350 字に要約して記す。ここに論文内容の概要を 300～350 字に要約して記す。ここに論文内容の概要を 300～350 字に要約して記す。

ここに論文内容の概要を 300～350 字に要約して記す。ここに論文内容の概要を 300～350 字に要約して記す。ここに論文内容の概要を 300～350 字に要約して記す。ここに論文内容の概要を 300～350 字に要約して記す。ここに論文内容の概要を 300～350 字に要約して記す。ここに論文内容の概要を 300～350 字に要約して記す。ここに論文内容の概要を 300～350 字に要約して記す。

段落の最初は
1 文字下げる

セリフ体の太字
イタリック体

30mm

1 行空ける

Keywords: 交通安全，交通管理，道路計画

章番号と
「．」は全角

1 行空ける

1．はじめに

本書式見本③は、「交通工学論文集」の分野 2)（事例研究・調査報告研究・システム開発など）、ならびに「交通工学論文集 B)」（実務論文）への投稿論文の作成すべき点をまとめたものである。

この書式見本は Microsoft Word の docx 形式[*1] と PDF 形式のファイルとして提供されている。Word ファイルのほう自体を修正して原稿を執筆して頂いても結構である。その他の環境で作成される場合は、以下に示す書式に則って作成していただきたい。

なお、論文の言語は日本語または英語に限る。日本語の場合は以下の書式に従うこと（英語の書式規定は別途提供されている）。下記の書式規定を逸脱しなければ、この書式は各著者の判断に任される。規定に反する原稿および判読困難な原稿は審査の対象とならないので、十分留意のこと。

章見出しの直後に
節見出しが来ない場合は
1 行空けない

章・節・項見出しは
字下げしない

章見出しの前は 1 行空ける

節見出しの前は 1 行空ける

項見出しの前は行を空けない

2．書式規定

2.1　形態に関する規定

(1)用紙サイズ

用紙は、A4 判とする。

(2)ページ数

標準上限 10 ページとし、最大 20 ページとする。ただし、特集号においては原則 10 ページを上限とし、修正意見に基づく修正後に限ってこの上限を超えることを認める。ページ数に応じて掲載料が異なることに留意されたい。

(3)余白・字数

各ページ上下各 19mm、左右各 20mm の余白をとる。本体部分の字数は 25 文字×2 段×48 行とし、段の間隔は 2 文字とする。謝辞・補注・参考文献も同じ行数・行間を確保しなければならない。

20mm

2.2　フォントに関する規定

以下、特に断りのない限り、和文は明朝体・10 ポイント、英文はセリフ体（Times New Roman など）・10 ポイントとする。謝辞・補注・参考文献も同様である。

2.3　題目・著者に関する規定

(1)論文題目

1 ページ目の第 1 行から、中央揃えで、和文・英文の順で記載する。和文と英文の間に空行を入れてはならない。フォントは、和文はゴシック体・12 ポイント、英文はサンセリフ体（Arial など）・12 ポイントとする。

投稿論文はそれ自体が独立した 1 編の論文でなければならず、題目（副題を含む）に「その 1」、「その 2」などと付けることは認められない。

1　学生会員，修士（工学），東都大学大学院工学研究科　（現　㈱竹橋道路設計）
2　正会員，工学博士・TOP，西京大学工学部
〒000-0000 東京都千代田区神田錦町 300-230　e-mail: example@example.ac.jp　Phone: 0987-65-4321
ロンドン架空大学交通工学研究センター
101-104 Piccadilly, Mayfair, London W1J 7JT, UK
3　JSTE Inc.
4　正会員，TOE，㈱竹橋道路設計

非会員の場合、「非会員」と記載する必要はありません。
また、これを機に是非入会をご検討ください。
http://www.jste.or.jp/Entry/entry.html

19mm

(2)著者

論文題目の下を 1 行空けた次の行から、中央揃えで、著者名を和文・英文の順で記載する。著者名には上付き番号を記す。和文と英文の間に空行を入れてはならない。

1 ページ目最 e-mail アドレスのハイパーリンクは解除しておく

究実施時点での各著者の会員種別、学位、TOP/TOE 資格、所属を、著者名に付けた番号と対応付けて記載する。なお、原稿の提出時までに著者の所属に変更がある場合、「(現　所属)」を追記してもよい。また、論文の責任著者(Corresponding author) 1 名について、連絡先 (住所、e-mail アドレス、電話番号) を記載する。

2.4　概要・キーワードに関する規定

(1)和文概要

著者名の最終行から 1 行空けて書く。字数は 300～350 字。両端揃えとし、左右各 1cm のインデントをとる。各段落の最初は 1 字下げること。

(2)英文概要

英文概要は記載しないこと。

(3)キーワード

和文概要の最終行から 1 行空けて、最大 5 つの和文キーワードを記載する。英文キーワードは不要。

2.5　本体部分に関する規定

(1)本文

キーワードの下を 1 行空けて本文を開始する（ここから 2 段組み)。各段落の最初は 1 字下げること。また、両端揃えとすること。

(2)見出し

章、節、項の見出しの番号は次のように付ける。

章　　1.，2.，3.，…（全角）
節　　1.1，1.2，1.3，…（半角）
項　　(1)，(2)，(3)，…（半角）

フォントはゴシック体／サンセリフ体・10 ポイントとする。章見出し・節見出しの前は 1 行空け、項見出しの前は行を空けないことを原則とするが、例外として、段組みの 1 行目に空行が来る場合はこれを省略し、一番下に見出しが来る場合は次の段へ送ることができる。

(3)図表

論文にはカラーの図や写真 本文中で図表を参照する箇所はゴシック体／サンセリフ体を使用

真のタイトルは下に、表のタイトルは上に置き、図や写真の場合は**図 1** のように、表の場合は**表 1** のように掲載し参照する。

タイトルのフォントはゴシック体／サンセリフ体・10 ポイントとする。本文中での参照箇所も同じ。

行を改めて数式を挿入する場合は中央揃えとし、右寄せ・括弧書きの式番号を付す。例えば次の式(1)、式(2)を参考にされたい。

数式は中央揃え　式番号は右寄せ

$$P_{in} = \frac{\exp\left(\mu V_{in}\right)}{\sum_{j} \exp\left(\mu V_{jn}\right)} \tag{1}$$

$$t_a(x_a) = t_{a0} \cdot \left\{ 1 + \alpha \cdot \left(\frac{x_a}{c_a} \right)^{\beta} \right\} \tag{2}$$

本文と同じ行に挿入する場合でも、例えばg (x) やg(x)、*g(x)*などとせず、*g*(*x*)のように式と揃えた表記とすること。変数はイタリックとするが、カッコや数字などは立体とする。

2.6　謝辞・補注・参考文献に関する規定

謝辞・補注・参考文献は、この順で、論文の最後にまとめて記す。それぞれの間に 1 行の空行を入れることを原則とするが、例外として、段組みの 1 行目に空行が来る場合はこれを省略し、一番下に見出しが来る場合は次の段へ送ることができる。フォントサイズ、1 ページあたり行数、行間は論文本体と同一とする。

(1)謝辞

必要な場合、補注と参考文献の前に記す。

見出しをゴシック体で書き、改行して謝辞本文を明朝体／セリフ体で記す。

(2)補注　図の周囲は枠線で囲まない

必要な場合は、本文 例えば*2 のように書き、謝辞の後 参考文献の前にまとめて記す。

図表タイトルはゴシック体／サンセリフ体で中央揃え
×**図-1**　番号の前にハイフンは不要
×**写真 1**　写真の場合も**図 1** とする
×**図-1**：　番号の後に「：」は不要

図 1　図の掲載方法（例）

表 1　交通工学研究会が発行する各論文集の和文書式の相違点

	論文書式①	論文書式②	論文書式③
適用対象	「交通工学研究発表会論文集」(研究論文・実務論文とも)	「交通工学論文集」(分野 1))「交通工学論文集(特集号 A)」	「交通工学論文集」(分野 2))「交通工学論文集(特集号 B)」
所属等	和文のみ	和文・英文とも必要	和文のみ
論文概要	和文のみ	和文・英文とも必要	和文のみ

見出しをゴシック体で書き、改行して補注本文を明朝体／セリフ体で記す。

(3)参考文献

本文中で上付きの片カッコ付き番号 [1)]を用いて引用するとともに、論文の最後に著者名、引用文献題目、掲載誌名、巻号、開始・終了ページ、発表年などをまとめて記す。参考文献 1)は単行本、2)は単行本の中の一部、3)は論文集の中の論文、4)は Web サイトの場合の書き方の例示である。

見出しをゴシック体で書き、改行して参考文献リストを明朝体／セリフ体で記す。

３．PDF ファイル作成上の留意点

著者が作成し提出するのは、審査を通過した後に「交通工学論文集」または「交通工学論文集(特集号 B)」に掲載される完成された論文であり、PDF 形式の電子ファイルでの提出が求められる。

PDF ファイルは Adobe Acrobat など PDF 作成機能を持つソフトウェアで作成する。その際、次の事項に留意されたい。

- PDF のバージョンは 1.3（Adobe Acrobat 4.x 相当）以上とする。
- ファイルの大きさは 5MB 以内とする。
- 論文中で使用するフォントは全てファイルに埋め込むこと。そうしないと、異なる環境でファイルを開いた場合に文字化けや文字落ちなどが生じる場合がある。
- 画像の解像度は、参考値として 300dpi 程度を推奨する。最終的なファイルの大きさと判読可能性を勘案し、適切な値を選ばれたい。
- 写真などの画像データの一部を隠す必要がある場合、例えば肖像権やプライバシー保護のために個人が特定できないようにする場合は、目隠し・ぼかし・モザイク処理、あるいは画像の低解像度化などにより、画像そのものを加工すること。ワープロソフト上で画像上に黒い四角形等のオブジェクトを重ね合わせてマスクしただけで作成した PDF ファイルでは、一般のソフトでそれを取り外されてしまうなどの危険性がある。
  したがって、マスクした元画像を JPEG 形式等で一体の画像ファイルとして一旦保存したうえで論文ファイルに挿入し、PDF 化すること。さらに、作成した PDF ファイルにおいて、元画像が適切にマスクされていることを確認すること。
- 論文集に掲載される際、論文誌名、論文番号、ページ番号などが挿入される。そのため、ファイルにセキュリティやパスワードを設定しないこと。「印刷」、「テキストとグラフィックの選択」、「文章の変更」、「注釈とフォームフィールドの追加と変更」などは許可すること。
- しおり、サムネールなどは設定しない。
- PDF ファイル内から外部の Web サイト、メールアドレスなどへのリンクは設定しない。これらのリンクは自動的に設定される場合があるが、忘れずに解除しておくこと。なお、同一論文ファイル内でリンク（本文から補注へ、など）を設定することは差し支えない。

４．おわりに

論文投稿や当会への入会手続きは、当会ホームページ(http://www.jste.or.jp/) の「オンラインサービス」からリンクをたどって行うことができる。

謝辞の前は 1 行空ける

謝辞

謝辞を書く場合はここに挿入する。ここに記して感謝申し上げます。

補注の前は 1 行空ける

補注

*1 本ファイルは Windows 版 Word 2016 および Mac 版 Word 2016 で正常に開けることを確認している。

*2 補注が不要であれば、この部分はまるごと削除して頂いて結構である。

参考文献の前は 1 行空ける

参考文献

1) 著者名：単行本名，出版元，発表年.

2) 著者名：担当箇所題目，単行本名（編著者名），出版元，開始-終了ページ，発表年.

3) 著者名：論文題目，掲載誌名，巻号，開始-終了ページ，発表年.

4) 著者名：記事題目，Web サイト名，URL，発表年.（閲覧年月日

URL のハイパーリンクは解除しておく

段組の末行はなるべく揃える

交通工学研究会　論文書式見本③
Sample Manuscript (3) of Papers for Japan Society of Traffic Engineers

交通 太郎[1]，工学 花子[2]，John DOE[3]，竹橋 次郎[4]
Taro KOTSU[1], Hanako KOGAKU[2], John DOE[3] and Jiro TAKEBASHI[4]

ここに論文内容の概要を 300～350 字に要約して記す。ここに論文内容の概要を 300～350 字に要約して記す。ここに論文内容の概要を 300～350 字に要約して記す。ここに論文内容の概要を 300～350 字に要約して記す。ここに論文内容の概要を 300～350 字に要約して記す。ここに論文内容の概要を 300～350 字に要約して記す。ここに論文内容の概要を 300～350 字に要約して記す。

ここに論文内容の概要を 300～350 字に要約して記す。ここに論文内容の概要を 300～350 字に要約して記す。ここに論文内容の概要を 300～350 字に要約して記す。ここに論文内容の概要を 300～350 字に要約して記す。ここに論文内容の概要を 300～350 字に要約して記す。ここに論文内容の概要を 300～350 字に要約して記す。ここに論文内容の概要を 300～350 字に要約して記す。

Keywords: 交通安全，交通管理，道路計画

１．はじめに

本書式見本③は、「交通工学論文集」の分野 2)（事例研究・調査報告研究・システム開発など）、ならびに「交通工学論文集(特集号 B)」（実務論文）への投稿論文の作成にあたって留意すべき点をまとめたものである。

この書式見本は Microsoft Word の docx 形式[*1] と PDF 形式のファイルとして提供されている。Word ファイルのほう自体を修正して原稿を執筆して頂いても結構である。その他の環境で作成される場合は、以下に示す書式に則って作成していただきたい。

なお、論文の言語は日本語または英語に限る。日本語の場合は以下の書式に従うこと（英語の書式規定は別途提供されている）。下記の書式規定を逸脱しなければ、これ以外の部分の書式は各著者の判断に任される。規定に従わない原稿および判読困難な原稿は審査の対象とならないので、十分留意のこと。

２．書式規定

2.1　形態に関する規定

(1)用紙サイズ

用紙は、A4 判とする。

(2)ページ数

標準上限 10 ページとし、最大 20 ページとする。ただし、特集号においては原則 10 ページを上限とし、修正意見に基づく修正後に限ってこの上限を超えることを認める。ページ数に応じて掲載料が異なることに留意されたい。

(3)余白・字数

各ページ上下各 19mm、左右各 20mm の余白をとる。本体部分の字数は 25 文字×2 段×48 行とし、段の間隔は 2 文字とする。謝辞・補注・参考文献も同じ行数・行間を確保しなければならない。

2.2　フォントに関する規定

以下、特に断りのない限り、和文は明朝体・10 ポイント、英文はセリフ体（Times New Roman など）・10 ポイントとする。謝辞・補注・参考文献も同様である。

2.3　題目・著者に関する規定

(1)論文題目

1 ページ目の第 1 行から、中央揃えで、和文・英文の順で記載する。和文と英文の間に空行を入れてはならない。フォントは、和文はゴシック体・12 ポイント、英文はサンセリフ体（Arial など）・12 ポイントとする。

投稿論文はそれ自体が独立した 1 編の論文でなければならず、題目（副題を含む）に「その 1」、「その 2」などと付けることは認められない。

1　学生会員，修士（工学），東都大学大学院工学研究科　（現　㈱竹橋道路設計）
2　正会員，工学博士・TOP，西京大学工学部
〒000-0000 東京都千代田区神田錦町 300-230　e-mail: example@example.ac.jp　Phone: 0987-65-4321
ロンドン架空大学交通工学研究センター
101-104 Piccadilly, Mayfair, London W1J 7JT, UK　e-mail: example@example.ac.uk　Phone: +44-11-2222-3333
3　JSTE Inc.
4　正会員，TOE，㈱竹橋道路設計

(2)著者

論文題目の下を 1 行空けた次の行から、中央揃えで、著者名を和文・英文の順で記載する。著者名には上付き番号を記す。和文と英文の間に空行を入れてはならない。

1 ページ目最下部に、本文との仕切り線を入れて、研究実施時点での各著者の会員種別、学位、TOP/TOE 資格、所属を、著者名に付けた番号と対応付けて記載する。なお、原稿の提出時までに著者の所属に変更がある場合、「(現　所属)」を追記してもよい。また、論文の責任著者 (Corresponding author) 1 名について、連絡先 (住所、e-mail アドレス、電話番号) を記載する。

2.4　概要・キーワードに関する規定

(1)和文概要

著者名の最終行から 1 行空けて書く。字数は 300～350 字。両端揃えとし、左右各 1cm のインデントをとる。各段落の最初は 1 字下げること。

(2)英文概要

英文概要は記載しないこと。

(3)キーワード

和文概要の最終行から 1 行空けて、最大 5 つの和文キーワードを記載する。英文キーワードは不要。

2.5　本体部分に関する規定

(1)本文

キーワードの下を 1 行空けて本文を開始する（ここから 2 段組み)。各段落の最初は 1 字下げること。また、両端揃えとすること。

(2)見出し

章、節、項の見出しの番号は次のように付ける。

章　　1．，2．，3．，…（全角）
節　　1.1，1.2，1.3，…（半角）
項　　(1)，(2)，(3)，…（半角）

フォントはゴシック体／サンセリフ体・10 ポイントとする。章見出し・節見出しの前は 1 行空け、項見出しの前は行を空けないことを原則とするが、例外として、段組みの 1 行目に空行が来る場合はこれを省略し、一番下に見出しが来る場合は次の段へ送ることができる。

(3)図表

論文にはカラーの図や写真、表を含めてよい。図や写真のタイトルは下に、表のタイトルは上に置き、図や写真の場合は**図 1** のように、表の場合は**表 1** のように掲載し参照する。

タイトルのフォントはゴシック体／サンセリフ体・10 ポイントとする。本文中での参照箇所も同じ。

(4)数式

行を改めて数式を挿入する場合は中央揃えとし、右寄せ・括弧書きの式番号を付す。例えば次の式(1)、式(2)を参考にされたい。

$$P_{in} = \frac{\exp\left(\mu V_{in}\right)}{\sum_{j} \exp\left(\mu V_{jn}\right)} \tag{1}$$

$$t_a(x_a) = t_{a0} \cdot \left\{ 1 + \alpha \cdot \left(\frac{x_a}{c_a} \right)^{\beta} \right\} \tag{2}$$

本文と同じ行に挿入する場合でも、例えばg (x) やg(x)、*g(x)*などとせず、*g*(*x*)のように式と揃えた表記とすること。変数はイタリックとするが、カッコや数字などは立体とする。

2.6　謝辞・補注・参考文献に関する規定

謝辞・補注・参考文献は、この順で、論文の最後にまとめて記す。それぞれの間に 1 行の空行を入れることを原則とするが、例外として、段組みの 1 行目に空行が来る場合はこれを省略し、一番下に見出しが来る場合は次の段へ送ることができる。フォントサイズ、1 ページあたり行数、行間は論文本体と同一とする。

(1)謝辞

必要な場合、補注と参考文献の前に記す。

見出しをゴシック体で書き、改行して謝辞本文を明朝体／セリフ体で記す。

(2)補注

必要な場合は、本文中に例えば[*2] のように書き、謝辞

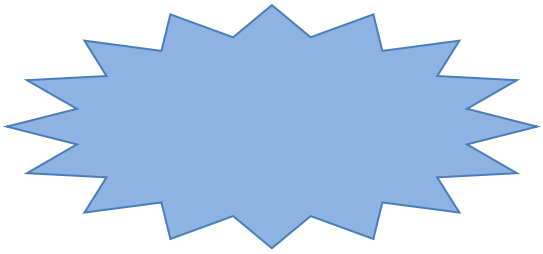


図 1　図の掲載方法（例）

表 1　交通工学研究会が発行する各論文集の和文書式の相違点

	論文書式①	論文書式②	論文書式③
適用対象	「交通工学研究発表会論文集」 (研究論文・実務論文とも)	「交通工学論文集」(分野 1)) 「交通工学論文集(特集号 A)」	「交通工学論文集」(分野 2)) 「交通工学論文集(特集号 B)」
所属等	和文のみ	和文・英文とも必要	和文のみ
論文概要	和文のみ	和文・英文とも必要	和文のみ

の後、参考文献の前にまとめて記す。

見出しをゴシック体で書き、改行して補注本文を明朝体／セリフ体で記す。

(3)参考文献

本文中で上付きの片カッコ付き番号 ｣)を用いて引用するとともに、論文の最後に著者名、引用文献題目、掲載誌名、巻号、開始・終了ページ、発表年などをまとめて記す。参考文献 1)は単行本、2)は単行本の中の一部、3)は論文集の中の論文、4)は Web サイトの場合の書き方の例示である。

見出しをゴシック体で書き、改行して参考文献リストを明朝体／セリフ体で記す。

３．PDF ファイル作成上の留意点

著者が作成し提出するのは、審査を通過した後に「交通工学論文集」または「交通工学論文集(特集号 B)」に掲載される完成された論文であり、PDF 形式の電子ファイルでの提出が求められる。

PDF ファイルは Adobe Acrobat など PDF 作成機能を持つソフトウェアで作成する。その際、次の事項に留意されたい。

- PDF のバージョンは 1.3（Adobe Acrobat 4.x 相当）以上とする。
- ファイルの大きさは 5MB 以内とする。
- 論文中で使用するフォントは全てファイルに埋め込むこと。そうしないと、異なる環境でファイルを開いた場合に文字化けや文字落ちなどが生じる場合がある。
- 画像の解像度は、参考値として 300dpi 程度を推奨する。最終的なファイルの大きさと判読可能性を勘案し、適切な値を選ばれたい。
- 写真などの画像データの一部を隠す必要がある場合、例えば肖像権やプライバシー保護のために個人が特定できないようにする場合は、目隠し・ぼかし・モザイク処理、あるいは画像の低解像度化などにより、画像そのものを加工すること。ワープロソフト上で画像上に黒い四角形等のオブジェクトを重ね合わせてマスクしただけで作成した PDF ファイルでは、一般のソフトでそれを取り外されてしまうなどの危険性がある。
  したがって、マスクした元画像を JPEG 形式等で一体の画像ファイルとして一旦保存したうえで論文ファイルに挿入し、PDF 化すること。さらに、作成した PDF ファイルにおいて、元画像が適切にマスクされていることを確認すること。
- 論文集に掲載される際、論文誌名、論文番号、ページ番号などが挿入される。そのため、ファイルにセキュリティやパスワードを設定しないこと。「印刷」、「テキストとグラフィックの選択」、「文章の変更」、「注釈とフォームフィールドの追加と変更」などは許可すること。
- しおり、サムネールなどは設定しない。
- PDF ファイル内から外部の Web サイト、メールアドレスなどへのリンクは設定しない。これらのリンクは自動的に設定される場合があるが、忘れずに解除しておくこと。なお、同一論文ファイル内でリンク（本文から補注へ、など）を設定することは差し支えない。

４．おわりに

論文投稿や当会への入会手続きは、当会ホームページ（http://www.jste.or.jp/）の「オンラインサービス」からリンクをたどって行うことができる。

謝辞

謝辞を書く場合はここに挿入する。ここに記して感謝申し上げます。

補注

*1 本ファイルは Windows 版 Word 2016 および Mac 版 Word 2016 で正常に開けることを確認している。

*2 補注が不要であれば、この部分はまるごと削除して頂いて結構である。

参考文献

1) 著者名：単行本名，出版元，発表年.
2) 著者名：担当箇所題目，単行本名（編著者名），出版元，開始-終了ページ，発表年.
3) 著者名：論文題目，掲載誌名，巻号，開始-終了ページ，発表年.
4) 著者名 : 記事題目，Web サイト名，URL，発表年.（閲覧年月日